

静岡市 感染症トピックス



今、気になる感染症 子宮頸がんを予防しよう

令和6年5月末時点（週報21週）の静岡市の様子

こちらは定点医療機関からの報告をもとに、静岡市の感染症の発生動向をグラフ化したものです。興味のある方は下のQRコードから最新情報をご覧ください。

※グラフは2024年青色、2023年みどり色、2022年灰色です。



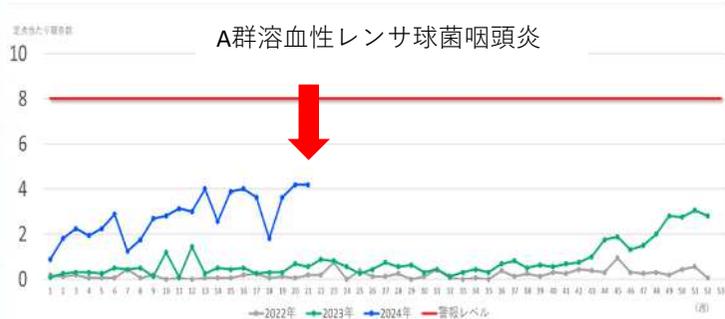
新型コロナウイルス

定点あたり1.84人であり、全国（3.35人）静岡県（3.41人）と比べ少ない発生人数で推移しています。



RSウイルス感染症

全国では2021年以降は春から初夏に継続した増加がみられ夏にピークがみられています。今年度の静岡市は増加の開始時期が早く、今後の発生動向に注意が必要です。



A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症です。症状は38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌等がみられます。昨年末から少し高い発生人数で推移しています。

子宮頸がんはこんな病気です

子宮の頸部にできるがんで、最近では20～30歳代に増えてきており、30歳後半から40歳代がピークとなっています。

初期には症状がほとんどないため、自覚症状が現れることなく進行していくという特徴があります。

国内では約1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2900人がなくなっているといわれており、2000年以降、患者数も死亡数も増加しています。（国立がん研究センター）



子宮頸がんの原因は？

子宮頸がんのほとんどは**ヒトパピローマウイルス（HPV）**というウイルスの感染が原因であることが分かっています。

HPVは主に性的接触により子宮頸部に感染するありふれたウイルスであり、性交経験のある女性の過半数は一生に一度は感染機会があるといわれています。しかし感染しても多くの場合免疫の力で自然に排除されますが、一部はHPV感染が長期間継続し、このうちの一部のひとは数年間かけて子宮頸がんに行進します。



予防および早期発見の方法について

子宮頸がんには2つの予防方法があります。

1：HPVワクチンの接種

子宮頸がんの原因となるHPVの感染を防ぐ予防接種です。

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2371/s003366.html>



2：子宮頸がん検診

初期の自覚症状が出にくく、自分では気づきにくい病気です。そのため定期的な検診により初期に発見することが大切です。20歳を過ぎたら2年に1度検診を受けることが推奨されています。

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s7463/s003150.html>



※ 最新の情報はこちらからホームページをご覧ください

